

平成14年度中間決算説明資料

平成14年度中間決算の概要

1. ジャパンエナジー連結中間決算の概要
2. ジャパンエナジー個別中間決算の概要
3. 日鉱金属連結中間決算の概要
4. 日鉱金属個別中間決算の概要

平成14年度新日鉱ホールディングス連結通期予想

1. 前提条件
2. 業績

セグメント別情報

1. 石油（ジャパンエナジーグループ）
2. 金属（日鉱金属グループ）
3. 電子材料（日鉱マテリアルズグループ）
4. その他（独立・機能会社グループ）

連結バランスシート、キャッシュ・フロー、指標等

1. 連結バランスシート
2. 連結キャッシュ・フロー
3. 連結有利子負債残高の推移
4. DEレシオ推移
5. 連結ベース設備投資・減価償却
6. CFROA
7. セグメント別連結人員の推移

新日鉱ホールディングス株式会社

平成14年11月20日

I 平成14年度中間決算の概要

1. ジャパンエナジー連結中間決算の概要

(単位：億円)

	14/上	13/上	増減
売上高	10,107	10,478	(×) 371
営業利益	122	183	(×) 61
営業外損益	9	0	(×) 9
経常利益	113	183	(×) 70
特別損益	38	33	(×) 5
法人税等	16	35	(○) 19
少数株主利益	36	41	() 5
中間純利益	23	74	(×) 51

(1) 対象会社

金属事業の連結の範囲を当中間期より日鉱金属連結に一致させました。

連結子会社 94社(増加18社, 減少0社)

持分法適用会社 20社(増加10社, 減少1社)

(2) 経常利益が前年同期比(×)70億円減益となった要因

営業利益が前年同期比(×)61億円減益となった要因

・個別決算 () 12億円

・連結子会社他 (×) 73億円

営業外損益が前年同期比(×)9億円減益となった要因

・個別決算 (×) 18億円

・持分法投資利益 () 8億円

・連結子会社他 (○) 1億円

【参考：営業利益のセグメント別内訳(注)】

(単位：億円)

	14/上	13/上(注)	増減
石油(ジャパンエナジーグループ)	73	98	(×) 25
金属(日鉱金属グループ)	47	59	(×) 12
電子材料(日鉱マテリアルズグループ)	14	11	(×) 25
その他(独立・機能会社グループ)	16	15	() 1
計	122	183	(×) 61

【参考：経常利益のセグメント別内訳(注)】

(単位：億円)

	14/上	13/上(注)	増減
石油(ジャパンエナジーグループ)	34	86	(×) 52
金属(日鉱金属グループ)	88	78	(○) 10
電子材料(日鉱マテリアルズグループ)	27	4	(×) 31
その他(独立・機能会社グループ)	18	15	(○) 3
計	113	183	(×) 70

(注) その他事業のセグメント区分を見直しています。

(3) 特別損益の内訳

特別利益	21億円
・投資有価証券売却益	3億円
・事業譲渡益	11億円
・その他	7億円
特別損失	59億円
・固定資産除却損	31億円
・投資有価証券評価損	20億円
・その他	8億円

2. ジャパンエナジー個別中間決算の概要

(単位：億円)

	14 / 上	13 / 上	増 減
売 上 高	7,540	7,803	(×) 263
営 業 利 益	77	65	() 12
営 業 外 損 益	39	21	(×) 18
金融収支	(33)	(21)	((×) 12)
経 常 利 益	38	44	(×) 6
特 別 損 益	35	3	(×) 38
法 人 税 等	1	13	() 12
中 間 純 利 益	2	34	(×) 32

- (1) 売上高が対前年同期比(×)263億円減収となった要因
- 石油製品 (×)318億円
 - (内訳)
 - ・販売単価(913円/KL) (×)152億円
 - ・数量減他((-)976千KL・T)(×)258億円
 - ・揮発油税等 () 92億円
 - その他製品 ()55億円(石化、電子材料、不動産)
- (2) 経常利益が対前年同期比(×)6億円減益となった要因
- 営業利益が、対前年同期比(○)12億円となった要因
- ・在庫評価の影響 ()57億円
 - ・中計改善効果 ()40億円
 - ・販売用不動産の売上減 (×)10億円
 - ・市況低迷によるマージン悪化他 (×)75億円
- 営業外損益が、対前年同期比(×)18億円となった要因
- ・金融収支の悪化 (×)12億円
 - ・為替差益の減 (×) 4億円
 - ・その他 (×) 2億円
- (3) 特別損益の内訳
- | | |
|------------|------|
| 特別利益 | 15億円 |
| ・投資有価証券売却益 | 2億円 |
| ・事業譲渡益 | 11億円 |
| ・貸倒引当金戻入額 | 2億円 |
| 特別損失 | 50億円 |
| ・固定資産売却損 | 2億円 |
| ・固定資産除却損 | 15億円 |
| ・投資有価証券評価損 | 32億円 |

3. 日鉱金属連結中間決算の概要

(単位：億円)

	14 / 上	13 / 上	増 減
売 上 高	1,505	1,453	(○) 52
営 業 利 益	49	61	(×) 12
営 業 外 損 益	35	16	(○) 20
(持分法投資利益)	(46)	(28)	((○) 19)
経 常 利 益	84	76	(○) 8
特 別 損 益	11	1	(×) 13
法 人 税 等	20	28	(○) 8
少 数 株 主 持 分	12	7	(×) 5
中 間 純 利 益	41	43	(×) 2

(1) 対象会社

連結子会社 32社(増加2社,減少0社)
持分法適用会社 15社(増加0社,減少1社)

(2) 売上高が対前年同期比(○)52億円増収となった要因

金属部門 (×)29億円(銅減販、亜鉛・パワーム価格ダウン)
金属加工部門 (○)81億円(増販等)
環境リサイクル部門 (○)3億円
エンジニアリング部門 (×)2億円
その他部門 (×)1億円

(3) 経常利益が対前年同期比(○)8億円増益となった要因

金属 ×21億円
〔持分法投資利益(○)19(LG-ニュー○15(増産・増販),ミネ 取 パワーム○5(増販)他)
日鉱金属及び連結子会社×40(銅・パワーム減販、亜鉛・パワームの価格ダウン)
金属加工 ○27億円(増販等:日鉱金属○19、富士電子工業○6、販売子会社○2)
環境リサイクル - 億円
エンジニアリング ○2億円
その他部門 ○1億円

(4) セグメント別内訳

(単位：億円)

		14 / 上	13 / 上	対前年増減
金 属	売 上 高	1,076	1,105	(×) 29
	営 業 利 益	14	54	(×) 41
	経 常 利 益	52	73	(×) 21
金属加工	売 上 高	257	175	(○) 81
	営 業 利 益	33	5	(○) 27
	経 常 利 益	30	3	(○) 27
環境リサイクル	売 上 高	33	30	(○) 3
	営 業 利 益	2	2	(×) 1
	経 常 利 益	1	1	-
エンジニアリング コンサルティング	売 上 高	54	55	(×) 2
	営 業 利 益	1	2	(○) 1
	経 常 利 益	0	2	(○) 2
その他	売 上 高	85	87	(×) 1
	営 業 利 益	2	1	(○) 1
	経 常 利 益	2	1	(○) 1
合 計	売 上 高	1,505	1,453	(○) 52
	営 業 利 益	49	61	(×) 12
	経 常 利 益	84	76	(○) 8

(5) 特別損益の内訳

特別利益	6 億円
・ 固定資産売却益	1 億円
・ 設備移転補償金	3 億円
・ その他	2 億円
特別損失	1 7 億円
・ 固定資産除却損	9 億円
・ 退職給付関連費用	6 億円
・ ゴルフ会員権評価損	1 億円
・ その他	1 億円

4. 日鉱金属個別中間決算の概要

(単位：億円)

	14 / 上	13 / 上	増 減
売 上 高	975	985	(×) 10
営 業 利 益	42	72	(×) 29
営 業 外 損 益	1	6	(○) 4
金 融 収 支	(2)	(2)	((○) 3)
経 常 利 益	41	66	(×) 25
特 別 損 益	0	1	(×) 1
法 人 税 等	15	28	(○) 13
中 間 純 利 益	26	40	(×) 14

(1) 売上高が対前年同期比(×)10億円減収となった要因

- 銅製錬(×)48(銅減販、パラジウム価格ダウン)
- 亜鉛製錬(×)9(亜鉛価格ダウン)
- 金属加工(○)63(増販等)
- 精密加工(×)9【事業移管】
- 環境リサイクル(×)144【事業移管】
- その他(○)137【事業移管】

(2) 経常利益が対前年同期比(×)25億円減益となった要因

営業利益が対前年同期比(×)29億円減益となった要因

- ・銅製錬×40(銅・パラジウム減販,パラジウム価格ダウン)
- ・亜鉛製錬×6(亜鉛価格ダウン)
- ・金属加工○19(増販等)
- ・精密加工○1【事業移管】
- ・環境リサイクル×3【事業移管】
- ・その他 -

営業外損益が対前年同期比(○)4億円増益となった要因

- ・金融収支の改善○3
- ・その他○1

(3) 特別損益の内訳

特別利益 8億円

- ・投資有価証券売却益5億円
- ・営業権譲渡益3億円

特別損失 8億円

- ・固定資産除却損2億円
- ・退職給付関連費用5億円
- ・ゴルフ会員権評価損1億円

Ⅱ. 平成14年度新日鉱ホールディングス連結通期予想

1. 前提条件

セグメント	14年度			13年度			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
石油 (ジャパソエナジー グループ)	為替レート(円/\$)	123	120	122	122	128	125
	原油FOB(\$/BBL)*	25.0	24.5	24.7	24.6	19.3	21.9
	パラシソ市況(\$/t)	427	430	429	439	356	399
金属 (日鉱金属 グループ)	銅価(¢/lb)	71	70	70	71	68	69
	銅販売量(千t/期・年)	287	287	574	303	282	584
	金属加工販売量(千t/期・年)	30	29	58	21	23	45
電子材料 (日鉱マテリアルズ グループ)	電解銅箔販売量(t/月)	2,082	2,212	2,147	2,166	1,550	1,858

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

2. 業績

(単位: 億円)

	14年度			13年度			増減 (14年-13年)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	10,107	11,093	21,200	10,478	10,356	20,834	(○) 366
営業利益	122	168	290	183	94	277	(○) 13
営業外損益	9	42	50	0	23	23	(×) 27
経常利益	113	126	240	183	71	254	(×) 14
特別損益	38	122	160	32	134	166	(○) 6
法人税等	16	2	18	35	10	25	(○) 7
少数株主持分	36	6	42	41	19	60	(○) 18
当期純利益	23	3	20	74	71	3	(○) 17

注) 14年の特別損益には、投資有価証券評価損約100億円が含まれております。

3. セグメント別業績

(単位: 億円)

	14年度			13年度			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
石油 (ジャパソエナジー グループ)	売上高	8,048	8,902	16,950	8,425	8,423	16,848
	営業利益	73	132	205	98	91	189
	経常利益	34	76	110	86	51	137
金属 (日鉱金属 グループ)	売上高	1,502	1,618	3,120	1,414	1,386	2,800
	営業利益	47	39	86	59	29	88
	経常利益	88	59	147	78	46	124
電子材料 (日鉱マテリアルズ グループ)	売上高	307	293	600	357	246	603
	営業利益	14	26	40	11	44	33
	経常利益	27	36	63	4	48	44
その他 (独立・機能会社 グループ)	売上高	343	367	710	379	365	744
	営業利益	16	23	39	15	18	33
	経常利益	18	27	46	15	22	37
消去	売上高	93	87	180	97	64	161
合計	売上高	10,107	11,093	21,200	10,478	10,356	20,834
	営業利益	122	168	290	183	94	277
	経常利益	113	126	240	183	71	254

各セグメントの売上高は、セグメント間の売上を含む。

Ⅲ セグメント別情報

1. 石油(ジャパンエナジーグループ)

(1) 業績予想

(単位：億円)

	14年度	13年度	差異
売上高	16,950	16,848	() 102
営業利益	205	189	() 16
経常利益	110	137	(x) 27

(経常利益差異要因 (x) 27 億円)

営業利益 (O) 16 億円

- ・在庫評価の影響 () 212 億円 (13 年度: - 135 億円 14 年度: + 77 億円)
- ・14-16 年度中計改善効果 () 80 億円
- ・販売用不動産の売上減 (x) 25 億円
- ・マージン悪化他 (x) 251 億円

営業外損益 (x) 43 億円

- ・受取配当金 (x) 24 億円
- ・持分法投資損益 (x) 9 億円
- ・為替差益他 (x) 10 億円

(2) 燃料油販売数量・シェア

(単位：千KL)

	一般販売数量 (内需)		14/上伸び率		シェア推移		14 年度通期		
	14/上	13/上	当社	全国	14/上	13/上	販売量	伸び率	全国
揮発油	3,271	3,150	103.8%	102.5%	10.7%	10.5%	6,341	102.4%	101.4%
ナフサ	1,466	2,012	72.9%	95.8%	9.0%	11.8%	2,790	82.7%	96.4%
シエット	335	328	102.2%	99.9%	13.1%	12.8%	689	102.7%	100.9%
灯油	706	700	100.8%	99.1%	9.3%	9.1%	2,849	100.6%	100.9%
軽油	2,249	2,329	96.6%	97.6%	11.5%	11.6%	4,539	97.2%	97.8%
A 重油	1,020	1,023	99.7%	102.2%	8.0%	8.2%	2,239	94.9%	100.0%
C 重油	811	852	95.1%	83.9%	7.3%	6.4%	1,895	120.6%	97.1%
燃料油	9,858	10,394	94.8%	97.7%	9.8%	10.1%	21,342	98.5%	99.2%
自揮中間	7,246	7,201	100.6%	100.6%	10.3%	10.3%	15,968	99.5%	100.2%

(3) 当社グループの原油処理量(万KL)およびトッパー稼働率(括弧内に表示)

	14年度			13年度			前年同期比(H14/H13)		
	グループ計	内水島	内鹿島	グループ計	内水島	内鹿島	グループ計	内水島	内鹿島
4月～6月	583 (70%)	261 (90%)	148 (57%)	609 (63%)	184 (63%)	208 (80%)	96%	142%	71%
7月～9月	645 (77%)	253 (86%)	228 (86%)	667 (80%)	268 (91%)	228 (87%)	97%	94%	100%
上期小計	1,227 (74%)	514 (88%)	376 (72%)	1,276 (70%)	451 (78%)	436 (83%)	96%	114%	86%
10月～12月	692 (83%)	268 (92%)	242 (92%)	692 (83%)	281 (96%)	230 (87%)	100%	95%	105%
1月～3月	694 (85%)	262 (91%)	244 (95%)	696 (85%)	270 (94%)	230 (89%)	100%	97%	106%
下期小計	1,386 (84%)	530 (92%)	486 (93%)	1,388 (84%)	551 (95%)	460 (88%)	100%	96%	106%
年度計	2,613 (79%)	1,044 (90%)	862 (83%)	2,664 (77%)	1,002 (86%)	896 (86%)	98%	104%	96%

グループ製油所の原油処理能力

ジャパンエナジー水島製油所：200,200 バレル/日

鹿島石油 鹿島製油所：180,000 バレル/日

富士石油 袖ヶ浦製油所：192,000 バレル/日

(4) SS店舗数の推移

	9/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	14/9末
社有SS (内切ッSS)	1,546	1,489	1,406	1,377	1,328	1,284 (105)	1,280 (157)
自己SS (内切ッSS)	4,686	4,590	3,811	3,575	3,318	3,192 (59)	3,139 (78)
SS計 (内切ッSS)	6,232	6,079	5,217	4,952	4,646	4,476 (164)	4,419 (235)

(5) ジャパンエナジーグループの業績予想

【ジャパンエナジー(個別)】

(単位：億円)

	14年度	13年度
売上高	15,800	15,560
営業利益	165	135
経常利益	90	75

	14/上	13/上
売上高	7,540	7,803
営業利益	77	65
経常利益	38	44

【鹿島石油】

(単位：億円)

	14年度	13年度
売上高	2,998	2,828
経常利益	24	10

	14/上	13/上
売上高	1,316	1,392
経常利益	10	17

2. 金属(日鉱金属グループ)

(1) 業績予想

(単位：億円)

	14年度	13年度	差異
売上高	3,120	2,800	(○) 320
営業利益	86	88	(×) 2
経常利益	147	124	(○) 23

(経常利益差異要因 (○) 23億円)

金属 ×26億円

持分法投資損益 ○19億円 (LG-ニコ-○11、ミネ 双 パラジウム○9他)

日鉱金属及び連結子会社×45億円 (銅・パラジウム減販、亜鉛・パラジウム価格ダウン)

金属加工 ○46億円 (増販等：日鉱金属○37、富士電子工業○7、販売子会社○2)

その他 ○3億円 (エンジニアリング・コンサルティング他)

(2) 部門別内訳

(単位：億円)

		14年度	13年度	対前年増減
金属	売上高	2,262	2,269	(×) 7
	営業利益	21	67	(×) 46
	経常利益	80	106	(×) 26
金属加工	売上高	501	369	(○) 132
	営業利益	57	14	(○) 43
	経常利益	56	10	(○) 46
環境・リサイクル	売上高	66	39	(○) 27
	営業利益	4	6	(×) 2
	経常利益	5	7	(×) 2
エンジニアリング コンサルティング	売上高	130	142	(×) 12
	営業利益	2	1	(○) 1
	経常利益	2	1	(○) 1
その他	売上高	161	153	(○) 8
	営業利益	4	2	(○) 2
	経常利益	3	2	(○) 1
調整	売上高	-	172	(○) 172
	営業利益	2	2	-
	経常利益	-	2	(○) 2
合計	売上高	3,120	2,800	(○) 320
	営業利益	86	88	(×) 2
	経常利益	147	124	(○) 23

(3) 価格・販売量

		14年度			13年度		
		14上	14下		13上	13下	
価格	銅価 (¢ / lb)	71	70	70	71	68	69
	亜鉛 (\$ / t)	774	750	762	880	779	830
	金 (\$ / TOZ)	314	300	307	271	284	278
	白金 (\$ / TOZ)	543	500	522	538	463	500
	パラジウム (\$ / TOZ)	339	300	320	565	370	468
販売量	銅 (千t)	287	287	574	303	281	584
	亜鉛 (千t)	47	46	93	48	50	98
	伸銅品 (千t)	22	22	44	15	17	32
	特殊鋼 (千t)	7	7	14	6	6	12

(4) 日鉱金属グループの業績予想

【日鉱金属 (個別)】

(単位: 億円)

	14年度		13年度	
	14上	13上	14上	13上
売上高	1,900	1,940	975	985
営業利益	80	106	42	72
経常利益	75	101	41	66

【LG-ニコ-カッパ-の業績】

	14年度	13年度	12年度	14/上
為替 (W/\$)【期平均】	1,251	1,291	1,130	1,295
為替 (W/¥)【期末】	10.00	10.09	11.02	10.05
銅価 (¢ / lb)	70.1	71.64	82.3	71.8
電気銅生産量 (千t/年)	497	474	468	235
売上高 (億w)	14,042	14,287	13,233	7,221
経常利益 (億w)	858	523	11	647

【チリ鉱山の業績】

	エスコンディータ		ミネラ ロス ペランブレス		コジャワシ	
	2002	2001	2002	2001	2002	2001
粗鉱処理量 (千t)	46,260	43,042	40,003	38,228	25,696	24,734
精鉱販売量 (千t)	1,761	1,646	799	856	994	987
販売銅量 (精鉱中Cu) (千t)	611	663	332	376	370	389
カソード販売量 (千t)	150	151	-	-	60	60
売上高 (百万\$)	1,174	1,220	581	564	659	674
経常利益 (百万\$)	156	244	146	102	127	90

3. 電子材料(日鉱マテリアルズグループ)

(1) 業績予想

(単位:億円)

	14年度	13年度	差異
売上高	600	603	(x) 3
営業利益	40	33	(x) 7
経常利益	63	44	(x) 19

(経常損益差異要因 (x) 19億円)

営業利益 (x) 7億円

・銅箔(O)4, ターゲット材(O)18, 化合物半導体・光カテラ・貴金属その他(x)22, 開発費等共通コスト(x)7

営業外損益(x) 1.2億円

・為替差損(x)8 他

(2) 電子材料製品別内訳

(単位:億円)

		14年度	13年度	14上	13上
銅箔	売上高	285	285	148	169
	営業利益	31	35	10	3
ターゲット	売上高	208	160	104	87
	営業利益	35	17	16	12
化合物半導体他 (内開発費等共通コスト)	売上高	107	158	55	101
	営業利益	44	15	20	2
		(33)	(26)	(15)	(12)

(3) 日鉱マテリアルズグループの業績予想

【日鉱マテリアルズ(個別)】

(単位:億円)

	14年度	13年度	14上	13上
売上高	372	317	187	175
営業利益	27	10	13	12
経常利益	17	6	7	9

【GEI】

(単位:百万ドル)

	14年度	13年度	14上	13上
売上高	102	162	57	110
経常利益	57	39	21	6

4. その他(独立・機能会社グループ)

(1) 業績予想

(単位：億円)

	14年度	13年度	差異
売上高	710	744	(x) 34
営業利益	39	33	() 6
経常利益	46	37	() 9

(2) 主な独立事業会社の業績予想

(単位：億円)

		14年度	13年度	14上	13上
am/pm	売上高	364	337	178	162
	経常利益	22	20	10	10
ジャパレン	売上高	152	155	78	81
	経常利益	1	1	1	1
CCS	売上高	168	161	70	79
	経常利益	8	7	1	2

(3) am/pm店舗数・チェーン売上げ

	店舗数(期末時点)	チェーン売上げ(億円)
平成10年度	1,087	1,593
平成11年度	1,192	1,774
平成12年度	1,274	1,929
平成13年度	1,337	2,091
平成14年度上期	1,334	1,102
平成14年度(予想)	1,416	2,212

IV 連結バランスシート・キャッシュフロー等

1. 連結バランスシート

(単位：億円)

	14/9 末	14/3 末	14/上期増減	15/3 末(予想)	14年度増減(予想)
流動資産	5,505	6,140	(-) 635	15,863	(-) 1,096
固定資産	10,603	10,819	(-) 216	15,863	(-) 1,096
総資産	16,108	16,959	(-) 851	15,863	(-) 1,096
流動負債	7,368	7,466	(-) 98	13,465	(-) 1,020
固定負債	6,312	7,019	(-) 707	13,465	(-) 1,020
少数株主持分	680	659	(+) 21	317	(-) 342
株主資本	1,748	1,815	(-) 67	2,081	(+) 266
株主資本比率	10.9%	10.7%	(+) 0.2%	13.1%	(+) 2.4%
1株当たり株主資本	161円01銭	162円91銭	(-)1円90銭	305円90銭	(+)142円99銭
有利子負債	8,822	8,928	(-) 106	8,625	(-) 303

(注) 期末発行済株式数(連結)

14/3 末：1,114 百万株、14/9 末：1,086 百万株、15/3 末：680 百万株(自己株式 168 百万株控除後)

主な項目の14年度増減予想 要因

資産 (-) 1,096	現金及び現金同等物 (-) 438 (うち新規連結の影響 (+) 52)、 売掛債権 (-) 231、設備投資 (+) 390、 減価償却 (-) 490、固定資産減売却・為替換算 (-) 168、 有価証券減損 (-) 100、その他 (-) 59
負債 (-) 1,020	仕入債務の減 (-) 594 (揮税等休日の影響 346 他) 有利子負債返済・償還 (-) 303 (キャッシュ・フロー (-) 256、為替換算他 (-) 47) その他 (-) 123
少数株主持分 (-) 342	日鉱金属分 (-) 363 (持分 57.9% 100%)
株主資本 (+) 266	少数株主持分の日鉱金属分 (+) 363、当期利益 (+) 20、 配当金・移転交付金支払 (-) 60、為替換算他 (-) 57

2. 連結キャッシュフロー

(単位：億円)

	14/上期	14年度予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	(-) 224	(+) 149 *
投資活動によるキャッシュ・フロー	(-) 155	(-) 295
財務活動によるキャッシュ・フロー	(-) 100	(-) 333
為替換算差額	(-) 11	(-) 11
現金及び現金同等物の増減額	(-) 490	(-) 490

* 14/3 末休日の影響を除く、実質的な営業活動によるキャッシュ・フロー (+) 495

(14年度予想の内訳)

営業活動によるキャッシュ・フロー (+) 149
税金等調整前当期純利益 (+) 80、減価償却費 (+) 490、売上債権・仕入債務 (-) 363、
その他 (-) 58
投資活動によるキャッシュ・フロー (-) 295
設備投資額 (-) 390、投融資支出 (-) 74、投融資回収 (+) 175、
その他 (-) 6
財務活動によるキャッシュ・フロー (-) 333
有利子負債返済・償還 (-) 256、配当金・移転交付金支払 (-) 60、その他 (-) 17

3. 連結有利子負債残高の推移

(単位：億円)

	12/3 末	13/3 末	14/3 末	14/9 末	半期増減
ジャパンエナジー	6,059	4,540	4,111	4,106	(-) 5
鹿島石油	1,753	1,523	1,157	1,234	(+) 77
日鉱金属	1,428	1,340	1,341	1,336	(-) 5
ジャパンエナジー・ファイナンス	2,061	1,895	1,552	1,430	(-) 122
その他	1,084	934	767	716	(-) 51
合計	12,385	10,232	8,928	8,822	(-) 106
対 12/3 末削減累計額	-	(-)2,153	(-)3,457	(-)3,563	

4. DEレシオ推移

(単位：億円)

	12/3 末	13/3 末	14/3 末	14/9 末	15/3 末予想
有利子負債	12,385	10,232	8,928	8,822	8,625
株主資本	1,154	1,812	1,815	1,748	2,081
DEレシオ	10.73	5.65	4.92	5.05	4.14

5. 連結ベース設備投資・減価償却

(単位：億円)

	12 年度	13 年度	14 年度見込
設備投資	4 2 2	4 4 4	3 9 0
減価償却	5 9 7	5 1 3	4 9 0
差引	1 7 5	6 9	1 0 0

セグメント別設備投資内訳

(単位：億円)

	14 年度上期	13 年度上期
石油(ジャパンエナジー・グループ)	7 3	7 7
金属(日鉱金属グループ)	3 4	4 4
電子材料(日鉱マテリアルズ・グループ)	2 7	7 1
その他(独立・機能会社グループ)	2 3	2 9
計	1 5 7	2 2 1

セグメント別減価償却内訳

(単位：億円)

	14 年度上期	13 年度上期
石油(ジャパンエナジー・グループ)	1 4 5	1 5 5
金属(日鉱金属グループ)	5 1	4 7
電子材料(日鉱マテリアルズ・グループ)	3 0	3 3
その他(独立・機能会社グループ)	1 9	1 8
計	2 4 5	2 5 3

6. CFROA

	11年度	12年度	13年度	14年上期 (年度換算)	14年度 予想	12-14年度 平均
連結ベース	3.0%	8.1%	6.8%	0.8%	3.1%	6.0%

目標値は、14年度連結CFROA6%以上。12-14年度平均で5.5%以上。

CFROA：営業活動によるキャッシュ・フローに利息の支払額を加算し、事業維持に必要な投資を差し引いたフリーキャッシュ・フローを、総資産から運転負債を差し引いた修正後総資産で除した値。

7. セグメント別連結人員の推移

(単位：人)

	石油 (ジャパコエジグループ)	金属 (日鉱金属グループ)	電子材料 (日鉱マテリアルズグループ)	その他 (独立・機能会社グループ)	合計
H12/3 末	4,736	2,218	3,709	2,631	13,294
H13/3 末	4,312	2,657	2,178	2,570	11,717
H14/3 末	4,118	2,528	1,765	2,503	10,914
H14.10.1	4,672	2,752	1,555	1,790	10,769

(注) H14.10.1時点でセグメント構成の見直しを行っている。